

コード	602030101
記入日	H25.6.7

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	田端 睦雄

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域づくり支援事業
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	6	政策名称	参加と行政による協働のまちづくり	款コード	2
施策コード	602	施策名称	住民参加のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	60203	基本事業名称	コミュニティ活動の推進	目コード	7
事務事業コード	6020301	事務事業名称	地域づくり支援事業	細目コード	801
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町地域活動支援事業補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 各行政区 (自治会等)		(対象指標1) 125行政区				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・自治会の活性化のために施設設備やコミュニティ活動に補助金を交付した。 →施設整備 36件 →コミュニティ活動 18件	***** 補助金交付件数	54件	100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	補助金については、54件の申請があり、内容を確認し54件とも交付した。コミュニティ活動の件数が徐々に増えている。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
	・各地域が集会や研修を行う施設整備に対する経費や地域住民が自主的に進めるコミュニティ活動事業に要する経費に対して補助を行うことにより、自治活動の促進を図ることを目的とする。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 自治活動の促進	-	-	-	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	地域住民が自主的に行うコミュニティ活動事業を支援することで、自治活動の促進が図られる。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	252	252	198	54	54				
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	64,194	64,194	51,305	12,889	12,889				
直接事業費 A	千円	37,594	37,594	28,205	9,389	9,389				
人件費 B	千円	26,600	26,600	23,100	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	3.8	3.8	3.3	0.5				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円	8,389	8,389	5,976	2,413	2,413			
一般財源	千円	55,805	55,805	45,329	10,476	10,476				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	協働のまちづくりを進めるため、地域住民による自主的な地域づくりを支援することがまちづくりに繋がる。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	徐々にではあるが、コミュニティ活動事業も増え、確実に地域づくりに対する意識は変わってきている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	制度の周知徹底により成果は向上する。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	協働のまちづくりに向け、確実に住民意識は向上している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	協働のまちづくりを目指し、この要綱に基づき進める。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	地域活性化を図るため、特にコミュニティ活動事業については、制度周知を図り進めて行く必要がある。
	今後、課題に向けた改善策	コミュニティ活動（ソフト）事業を進めることが、地域づくりに繋がると思うので、積極的に地域に入り共に地域づくりを考えて行く。

2次評価	地域の活性化策としてコミュニティ活動の推進は有効であり地域づくりに繋がる。本町の現状を踏まえると地域づくりは今後益々重要であり、制度周知を図ることはもとより、地域に入りともに地域づくりを考えて協働のまちづくりを推進すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。